

監理団体改革の検討状況について

平成29年7月19日
総務局

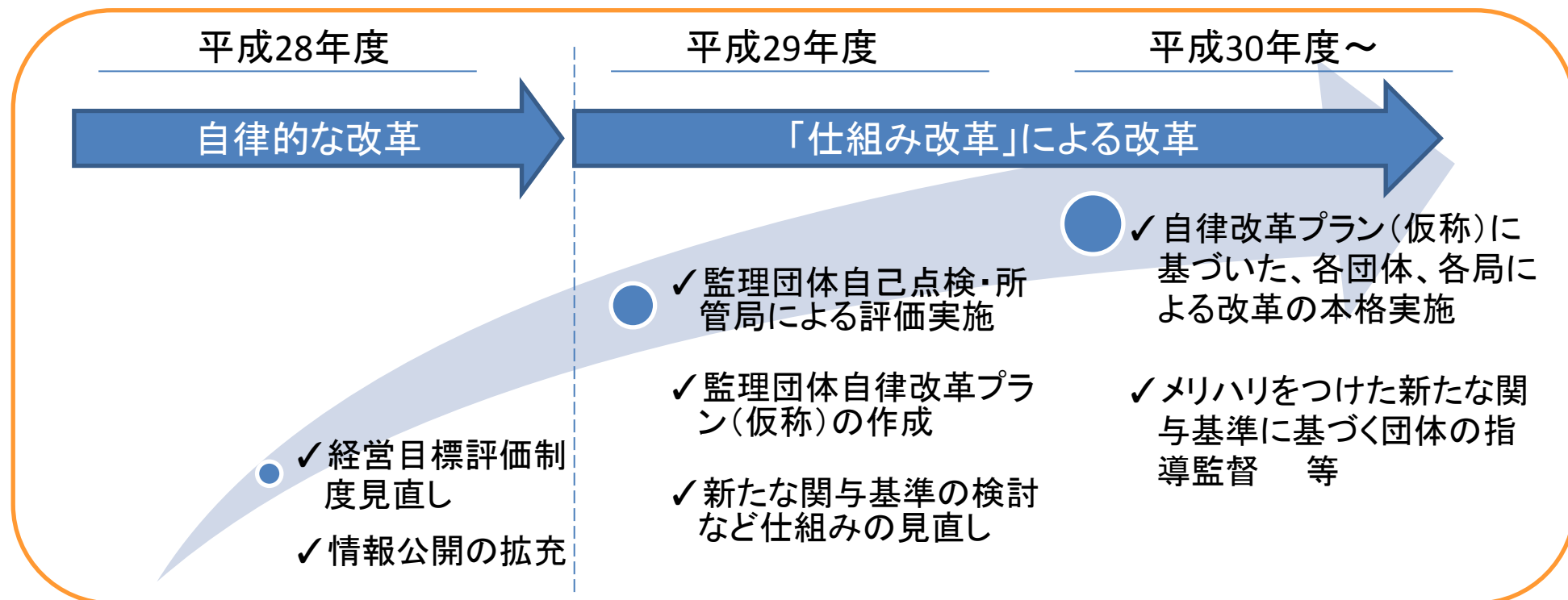
第1部

監理団体改革の取組状況について

1 監理団体の自己点検及び所管局評価の取組状況

監理団体改革の流れ

- ・都政改革本部が設置されて以降、自律的な改革の一環として、制度所管局（総務局）による監理団体経営目標評価制度の見直し（外部有識者による意見聴取の仕組み導入等）や情報公開の拡充（都財政支出受入額等）を実施
- ・今年度からは、2020改革の「仕組み改革」の検討課題の一つに位置付け、「監理団体の戦略的活用」に向けた改革を進めることとしており、制度所管局に加え監理団体及び団体所管各局等においてもその取組を推進



1 監理団体の自己点検及び所管局評価の取組状況

4 今後の検討にあたっての課題整理

参考：平成29年5月30日 第9回本部会議資料抜粋

検討すべき主要課題

○都と監理団体の関係性

- ☛ 公的サービスの提供主体として、今後の都庁と監理団体の関係性はどうあるべきか
- ☛ 従来の「積極的活用」の考え方を一歩進め、将来動向を見据えた監理団体の新たな位置づけ等を検討すべきではないか

○都の関与のあり方

- ☛ 従来の全団体一律的な関与が、今後の監理団体の執行体制強化に資する最適な関与の手法であるのか検討すべきではないか

○監理団体個々の経営のあり方

- ☛ 業務量の増加、人手不足など将来動向を踏まえた上で、各団体の経営はどうあるべきか

✓ 位置づけや関与手法など「新たな仕組み」の検討を進め、7月に改革の方向性を整理

✓ 現在の監理団体の置かれている状況（位置づけや経営課題等）について、団体自らが自己点検し、各団体所管局が評価を実施

その上で、課題解決を図るべきものは団体による自律的な改革プランを策定

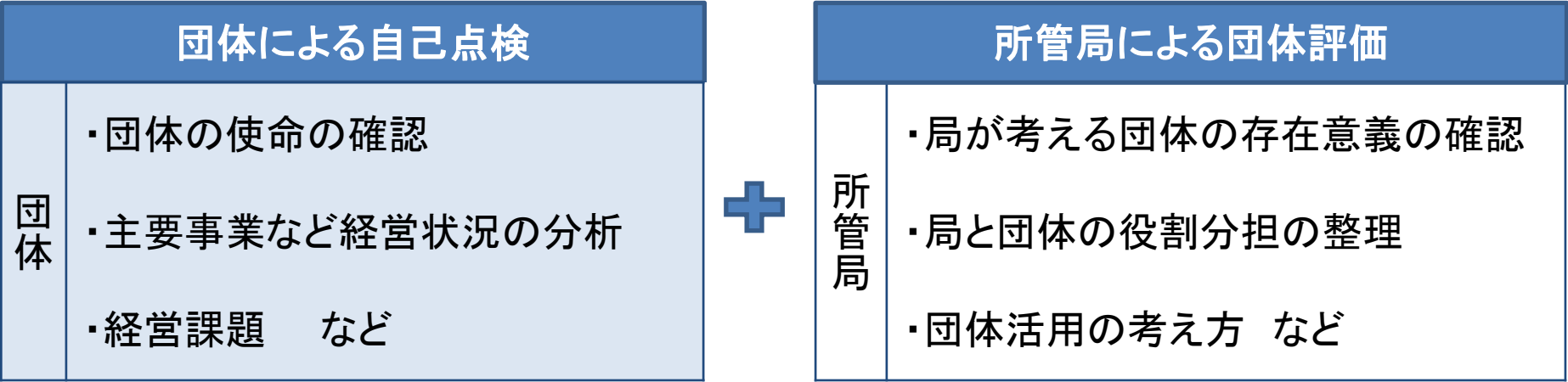
※報告団体は、各局の主要事業を分析・評価する「見える化改革」において関係する事業ユニットごとに実施

1 監理団体の自己点検及び所管局評価の取組状況

自己点検等の概要

- ・団体の存在意義や組織運営上の強み・弱み等を検証し、経営課題などを抽出
- ・局による団体活用の考え方や役割分担等を検証し、戦略的活用に向けた考え方を整理

《平成29年度の取組》



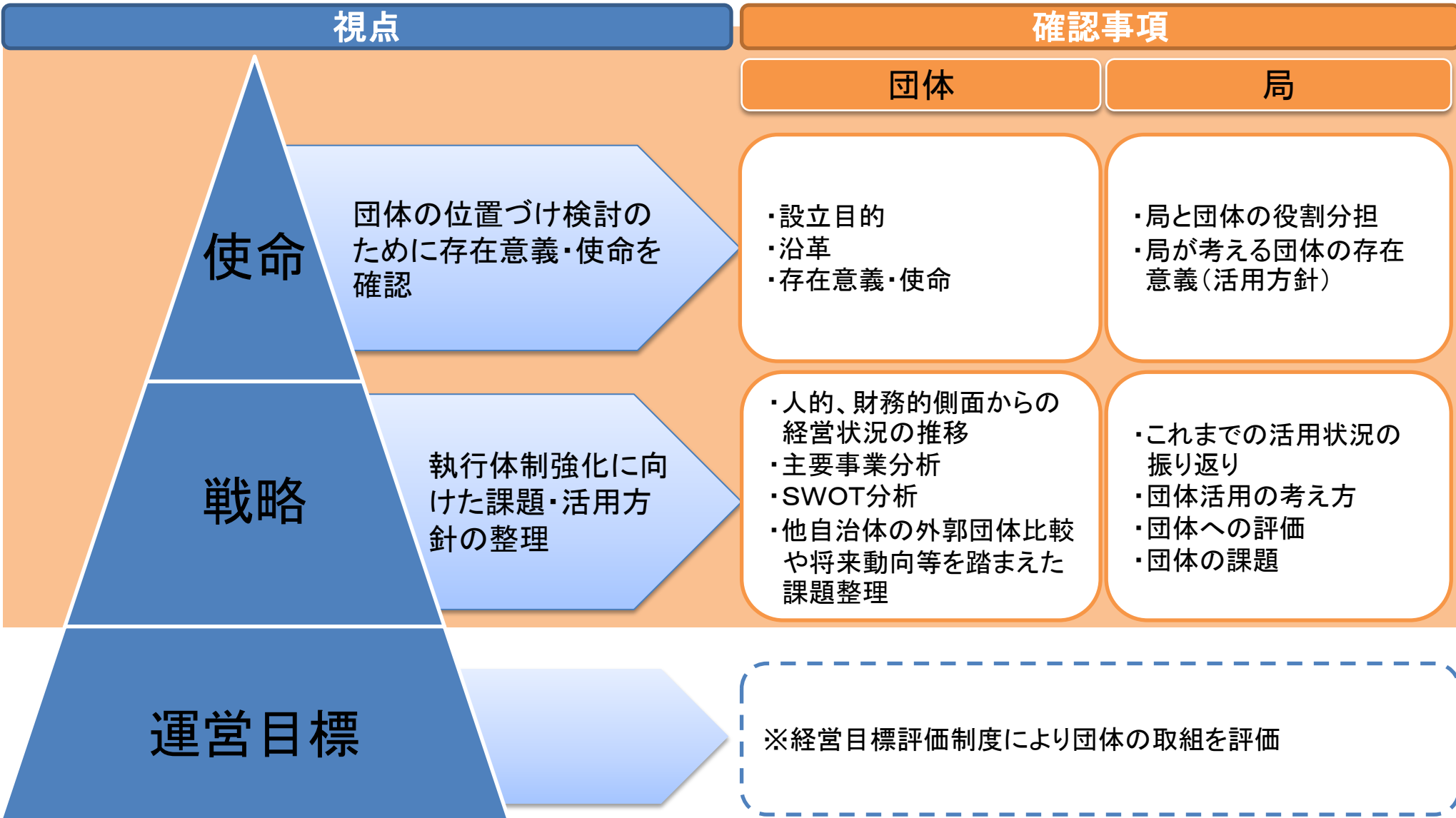
都政改革本部による、「見える化改革」と連動したヒアリングの実施

団体による自律改革プランの策定

自己点検で出てきた経営課題を踏まえた、団体の機能強化に向けた改革案の策定
(改革メニュー例: 都民サービスの質の向上、経営の効率化、働き方改革等)

1 監理団体の自己点検及び所管局評価の取組状況

自己点検等の対象範囲



2 今後の監理団体改革スケジュール(予定)

- 9月 都政改革本部会議において団体改革の方向性を提示
- ～9月 各団体の自己点検（所管局の評価含む）の実施
- ～12月 団体自律改革プランの作成
- 年末～年度末 団体自己点検レポート・団体自律改革プラン取りまとめ
監理団体改革の取組を「2020改革プラン(仮称)」へ反映

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月～
都政改革本部	○ 検討状況報告① (監理団体の総括分析)		○ 検討状況報告② (報告団体の総括分析等)		○ 改革の方向性報告		← 検討が完了したものについて 適宜報告	
自己点検・ 自律改革 (団体・局等)		←		団体自己点検 所管局による団体評価	→	←	→	←
仕組み (総務局)	←	方向性案の検討	→			←	関与の基準、関与手法等の検討	